

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 12 月 10 日 (2015.12.10)

【公開番号】特開 2015-188227 (P2015-188227A)
 【公開日】平成 27 年 10 月 29 日 (2015.10.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-066
 【出願番号】特願 2015-95061 (P2015-95061)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 28/06 (2009.01)

H 0 4 J 99/00 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 28/06 1 1 0

H 0 4 J 15/00

H 0 4 W 84/12

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 10 月 13 日 (2015.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示す第 1 のインジケータを備える前記データユニットを受信することと、

前記制御フィールドが存在することを前記第 1 のインジケータが示す場合は、前記制御フィールドにおける第 2 のインジケータに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第 1 のタイプの制御フィールドであるか又は第 2 のタイプの制御フィールドであるかを決定することと、

前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理することと、を備える、無線通信方法。

【請求項 2】

前記第 2 のインジケータは、前記制御フィールドの前記第 1 のビットである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 のインジケータは、前記制御フィールドタイプが超高スループット (VHT) であるか又は高スループット (HT) であるかを示す請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 2 のインジケータは、前記制御フィールドにおける予約されたビットである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 のインジケータは、オーダービットである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記オーダービットは、前記データユニット内の MAC ヘッダに含まれる請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記オーダービットは、前記 MAC ヘッダのフレーム制御フィールド内に含まれる請

求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記制御フィールドは、前記 M A C ヘッダ内において H T 制御フィールドを備える請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記データユニットは、物理層プロトコルデータユニット (P P D U) を備える請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記制御フィールドに基づいて変調コーディング方式 (M C S) を決定することをさらに備える請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

M C S フィードバックを求める要求を送信することをさらに備え、前記データユニットは、前記要求に応答して受信される請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示す第 1 のインジケータを備える前記データユニットを受信するように構成された受信機と、

前記制御フィールドが存在することを前記第 1 のインジケータが示す場合は、前記制御フィールドにおける第 2 のインジケータに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第 1 のタイプの制御フィールドであるか又は第 2 のタイプの制御フィールドであるかを決定し、及び前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理するように構成された処理システムと、を備える、無線通信のための装置。

【請求項 13】

前記第 2 のインジケータは、前記制御フィールドの前記第 1 のビットである請求項 12 に記載の装置。

【請求項 14】

前記第 2 のインジケータは、前記制御フィールドタイプが超高スループット (V H T) であるか又は高スループット (H T) であるかを示す請求項 12 に記載の装置。

【請求項 15】

前記第 2 のインジケータは、前記制御フィールドにおける予約されたビットである請求項 12 に記載の装置。

【請求項 16】

前記第 1 のインジケータは、オーダービットである請求項 12 に記載の装置。

【請求項 17】

前記オーダービットは、前記データユニット内の M A C ヘッダに含められる請求項 16 に記載の装置。

【請求項 18】

前記オーダービットは、前記 M A C ヘッダのフレーム制御フィールド内に含められる請求項 17 に記載の装置。

【請求項 19】

前記制御フィールドは、前記 M A C ヘッダ内において H T 制御フィールドを備える請求項 17 に記載の装置。

【請求項 20】

前記データユニットは、物理層プロトコルデータユニット (P P D U) を備える請求項 12 に記載の装置。

【請求項 21】

前記処理システムは、前記制御フィールドに基づいて変調コーディング方式 (M C S) を決定するようにさらに構成される請求項 12 に記載の装置。

【請求項 22】

M C S フィードバックを求める要求を送信するように構成された送信機をさらに備え、前記データユニットは、前記要求に応答して受信される請求項 12 に記載の装置。

【請求項 23】

データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示す第1のインジケータを備える前記データユニットを受信するための手段と、

前記制御フィールドが存在することを前記第1のインジケータが示す場合は、前記制御フィールドにおける第2のインジケータに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第1のタイプの制御フィールドであるか又は第2のタイプの制御フィールドであるかを決定するための手段と、

前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理するための手段と、を備える、無線通信のための装置。

【請求項 24】

前記第2のインジケータは、前記制御フィールドの前記第1のビットである請求項23に記載の装置。

【請求項 25】

前記第2のインジケータは、前記制御フィールドタイプが超高スループット（VHT）であるか又は高スループット（HT）であるかを示す請求項23に記載の装置。

【請求項 26】

前記第2のインジケータは、前記制御フィールドにおける予約されたビットである請求項23に記載の装置。

【請求項 27】

前記第1のインジケータは、オーダービットである請求項23に記載の装置。

【請求項 28】

前記オーダービットは、前記データユニット内のMACヘッダに含まれる請求項27に記載の装置。

【請求項 29】

前記オーダービットは、前記MACヘッダのフレーム制御フィールド内に含まれる請求項28に記載の装置。

【請求項 30】

前記制御フィールドは、前記MACヘッダ内においてHT制御フィールドを備える請求項28に記載の装置。

【請求項 31】

前記データユニットは、物理層プロトコルデータユニット（PPDU）を備える請求項23に記載の装置。

【請求項 32】

前記制御フィールドに基づいて変調コーディング方式（MCS）を決定するための手段をさらに備える請求項23に記載の装置。

【請求項 33】

MCSフィードバックを求める要求を送信するための手段をさらに備え、前記データユニットは、前記要求に応答して受信される請求項23に記載の装置。

【請求項 34】

実行されたときに、

データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示す第1のインジケータを備える前記データユニットを受信し、

前記制御フィールドが存在することを前記第1のインジケータが示す場合は、前記制御フィールドにおける第2のインジケータに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第1のタイプの制御フィールドであるか又は第2のタイプの制御フィールドであるかを決定し、及び

前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理することを装置に行わせる命令を備える非一時的なコンピュータによって読み取り可能な媒体。

【請求項 35】

少なくとも1本のアンテナと、

データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示す第 1 のインジケータを備える前記データユニットを、前記アンテナを介して、受信するように構成された受信機と、

前記制御フィールドが存在することを前記第 1 のインジケータが示す場合は、前記制御フィールドにおける第 2 のインジケータに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第 1 のタイプの制御フィールドであるか又は第 2 のタイプの制御フィールドであるかを決定し、及び

前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理するように構成された処理システムと、を備える、ユーザ端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0089】

上記は、本開示の態様を対象とする一方で、本開示の基本的な適用範囲を逸脱することなしにそれのその他の及びさらなる態様を案出することができ、それらの適用範囲は、後続する請求項によって決定される。

以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1] データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示すインジケータを備える前記データユニットを受信することと、

前記制御フィールドが存在することを前記インジケータが示す場合は、前記データユニットのサブフィールドに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第 1 のタイプを備えるか又は第 2 のタイプを備えるかを決定することと、

前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理することと、を備える、無線通信方法。

[C2] 前記決定は、前記制御フィールドの前記第 1 のビットに基づく C1 に記載の方法。

[C3] 前記サブフィールドは、前記制御フィールドタイプが超高スループット (VHT) であるか又は高スループット (HT) であるかを示す C1 に記載の方法。

[C4] 前記決定は、前記制御フィールドにおける予約されたビットに基づく C1 に記載の方法。

[C5] 前記インジケータは、オーダービットである C1 に記載の方法。

[C6] 前記オーダービットは、前記データユニット内の MAC ヘッダに含まれる C5 に記載の方法。

[C7] 前記オーダービットは、前記 MAC ヘッダのフレーム制御フィールド内に含まれる C6 に記載の方法。

[C8] 前記制御フィールドは、前記 MAC ヘッダ内において HT 制御フィールドを備える C6 に記載の方法。

[C9] 前記データユニットは、物理層プロトコルデータユニット (PPDU) を備える C1 に記載の方法。

[C10] 前記制御フィールドに基づいて変調コーディング方式 (MCS) を決定することをさらに備える C1 に記載の方法。

[C11] MCS フィードバックを求める要求を送信することをさらに備え、前記データユニットは、前記要求に応答して受信される C1 に記載の方法。

[C12] データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示すインジケータを備える前記データユニットを受信するように構成された受信機と、

前記制御フィールドが存在することを前記インジケータが示す場合は、前記データユニットのサブフィールドに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第 1 のタイプを備えるか又は第 2 のタイプを備えるかを決定し、及び前記制御フィールドの前記タイプ

に基づいて前記制御フィールドを処理するように構成された処理システムと、を備える、無線通信のための装置。

[C 1 3] 前記決定は、前記制御フィールドの前記第 1 のビットに基づく C 1 2 に記載の装置。

[C 1 4] 前記サブフィールドは、前記制御フィールドタイプが超高スループット (V H T) であるか又は高スループット (H T) であるかを示す C 1 2 に記載の装置。

[C 1 5] 前記決定は、前記制御フィールドにおける予約されたビットに基づく C 1 2 に記載の装置。

[C 1 6] 前記インジケータは、オーダービットである C 1 2 に記載の装置。

[C 1 7] 前記オーダービットは、前記データユニット内の M A C ヘッダに含められる C 1 6 に記載の装置。

[C 1 8] 前記オーダービットは、前記 M A C ヘッダのフレーム制御フィールド内に含められる C 1 7 に記載の装置。

[C 1 9] 前記制御フィールドは、前記 M A C ヘッダ内において H T 制御フィールドを備える C 1 7 に記載の装置。

[C 2 0] 前記データユニットは、物理層プロトコルデータユニット (P P D U) を備える C 1 2 に記載の装置。

[C 2 1] 前記処理システムは、前記制御フィールドに基づいて変調コーディング方式 (M C S) を決定するようにさらに構成される C 1 2 に記載の装置。

[C 2 2] M C S フィードバックを求める要求を送信するように構成された送信機をさらに備え、前記データユニットは、前記要求に回答して受信される C 1 2 に記載の装置。

[C 2 3] データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示すインジケータを備える前記データユニットを受信するための手段と、

前記制御フィールドが存在することを前記インジケータが示す場合は、前記データユニットのサブフィールドに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第 1 のタイプを備えるか又は第 2 のタイプを備えるかを決定するための手段と、

前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理するための手段と、を備える、無線通信のための装置。

[C 2 4] 前記決定は、前記制御フィールドの前記第 1 のビットに基づく C 2 3 に記載の装置。

[C 2 5] 前記サブフィールドは、前記制御フィールドタイプが超高スループット (V H T) であるか又は高スループット (H T) であるかを示す C 2 3 に記載の装置。

[C 2 6] 前記決定は、前記制御フィールドにおける予約されたビットに基づく C 2 3 に記載の装置。

[C 2 7] 前記インジケータは、オーダービットである C 2 3 に記載の装置。

[C 2 8] 前記オーダービットは、前記データユニット内の M A C ヘッダに含められる C 2 7 に記載の装置。

[C 2 9] 前記オーダービットは、前記 M A C ヘッダのフレーム制御フィールド内に含められる C 2 8 に記載の装置。

[C 3 0] 前記制御フィールドは、前記 M A C ヘッダ内において H T 制御フィールドを備える C 2 8 に記載の装置。

[C 3 1] 前記データユニットは、物理層プロトコルデータユニット (P P D U) を備える C 2 3 に記載の装置。

[C 3 2] 前記制御フィールドに基づいて変調コーディング方式 (M C S) を決定するための手段をさらに備える C 2 3 に記載の装置。

[C 3 3] M C S フィードバックを求める要求を送信するための手段をさらに備え、前記データユニットは、前記要求に回答して受信される C 2 3 に記載の装置。

[C 3 4] 実行されたときに、

データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示すインジケータを備える前記データユニットを受信し、

前記制御フィールドが存在することを前記インジケータが示す場合は、前記データユニットのサブフィールドに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第１のタイプを備えるか又は第２のタイプを備えるかを決定し、及び

前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理することを装置に行わせる命令を備えるコンピュータによって読み取り可能な媒体を備える無線で通信するためのコンピュータプログラム製品。

[C 3 5] 少なくとも１本のアンテナと、

データユニット内に制御フィールドが存在するかどうかを示すインジケータを備える前記データユニットを、前記アンテナを介して、受信するように構成された受信機と、

前記制御フィールドが存在することを前記インジケータが示す場合は、前記データユニットのサブフィールドに少なくとも部分的に基づいて前記制御フィールドが第１のタイプを備えるか又は第２のタイプを備えるかを決定し、及び

前記制御フィールドの前記タイプに基づいて前記制御フィールドを処理するように構成された処理システムと、を備える、ユーザ端末。